

令和5年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174340	観光情報発信事業費
単位: 千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		60,894	52,164		-8,730
財 源 内 訳	国費	3,553	0		-3,553
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	9,600	8,000		-1,600
	一般財源	47,741	44,164		-3,577
特定財源の内訳					
事業期間		○	単年度繰返	期間限定	～
部重点施策における目標					
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します					
事業開始の背景・経緯					
観光客誘致を通じ交流人口を拡大するために必要な情報発信の機会として、観光キャンペーンや広告宣伝を実施する。					
事業概要					
○関係団体等を通じた観光情報の発信 33,078千円					
○観光パンフレット等作製 9,299千円					
○商談会・物産展等への参加 761千円					
○電照広告（カラーコルトン）の掲出 770千円					
○イーハトーブ大使によるPR 529千円					
○映像作品のロケ誘致 1,331千円					
○ロケ誘致支援事業補助金 0千円					
○宿泊施設利用促進事業 6,000千円					
○体験型観光推進事業補助金 171千円					
○滞在型観光推進事業補助金 114千円					
○コンベンション開催支援事業補助金 111千円					

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	松田 隆
意見・要望等の状況			
・閑散期の宿泊施設利用促進については、一般社団法人花巻観光協会から要望があったもの。			
事業手法の詳細 1			
観光情報発信事業 52,164千円			
1 関係団体等を通じた観光情報の発信 33,078千円 関係団体が実施する誘客事業や宣伝広告事業に対する支援 (1) 花巻観光協会事業補助金 30,300千円 (2) いわて観光キャンペーン推進協議会負担金 674千円 (3) 岩手県観光協会負担金 2,104千円			
2 観光パンフレット等作製 9,299千円 パンフレット、ポスター等の作製			
3 商談会・物産展等への参加 761千円			
4 電照広告（カラーコルトン）掲出 770千円 いわて花巻空港内への電照広告の掲出			
5 イーハトーブ大使によるPR 529千円 (1) 大使を通じた主要都市での花巻の観光や首都圏イベント情報等の発信 285千円 ・謝礼金（記念品）154千円、名刺印刷費 101千円、名刺郵便料 30千円 (2) イーハトーブ大使意見交換会（東京で開催 ※H30～R4まで休止） 244千円 ・旅費 181千円、会場借上げ 63千円			
6 映画作品のロケ誘致 1,331千円 (1) 制作者への協力、関係者との調整等 241千円 (2) ジャパンフィルムコミッション会費 100千円 (3) ガイドブックや市ホームページへのロケ候補地の画像・動画掲載 990千円			
7 ロケ誘致支援事業補助金 0千円（利用団体なし） 市内でロケを行う団体の宿泊費及び交通費を支援			
8 宿泊施設利用促進事業 6,000千円 一般社団法人花巻観光協会が実施する閑散期等における市内宿泊施設への誘客キャンペーンの支援 ・観光庁高付加価値化事業でリニューアルした宿泊施設を対象とするOTAを活用したプロモーションの実施 ・花巻12湯への宿泊促進を目的にOTAを活用したプロモーションの実施 ・ランタンイベントや雛まつり等の冬期限定イベントの実施及び支援			
9 体験型観光推進事業補助金 171千円（3件） 体験型コンテンツを創出・改良する事業者への取組の支援			
10 滞在型観光推進事業補助金 114千円（2件） 施設内又は徒歩圏の周辺環境において、宿泊者への体験プログラムを提供する宿泊事業者に対する支援			
11 コンベンション開催支援事業補助金 111千円（3件） 市内の会議室を利用する県外団体（20名以上）への支援			

令和5年度
事業説明資料【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174400	外国人観光客誘致促進事業費
単位: 千円					
		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,030	7,703		2,673
財 源 内 訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,030	7,703		2,673
特定財源の内訳					
事業期間		○	単年度繰返	期間限定	～
部重点施策における目標					
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します					
事業開始の背景・経緯					
コロナ禍以前においては、訪日外国人観光客が年々増加していく中で、誘客促進の取り組みや受入環境整備等の対応が急務となっていた。令和4年10月に新型コロナウイルスの水際対策が大幅に緩和されたことを受け、改めて誘客促進の取り組みや受入環境整備等の対応を行う必要がある。					
事業概要					
○商談会への参加 899千円 国内外で開催される外国人観光客誘致商談会への参加 ○外国人観光客誘致促進事業への支援 6,136千円 （一社）花巻観光協会が実施する外国人観光案内所の運営、SNSによる多言語での情報発信、商談会や旅行博等プロモーションへの事業支援 ○関係団体負担金 404千円 北東北三県観光立県推進協議会国際観光部会、日本政府観光局への負担金支出 ○外国人観光客受入環境整備 264千円 音声翻訳機リース料（市観光関連施設10ヶ所分）					

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	松田 隆
意見・要望等の状況			
事業手法の詳細 1			
1. 関係団体負担金 404千円 日本政府・北東北三県など広域的に外国人誘客、情報発信、情報提供を行う団体への負担金 （1）北東北三県観光立県推進協議会国際観光部会負担金 104千円 （2）日本政府観光局（JNTO）賛助団体負担金 300千円			
2. 商談会等への参加 899千円 国内・海外で開催される商談会へ参加を通じた誘客プロモーションの実施 ・旅費884千円、ルーターレンタル15千円			
3. 外国人観光客誘致促進事業補助金 6,136千円 花巻観光協会の商談会参加やAGTセールス、SNSによる多言語での情報発信、外国人案内業務への支援			
4. 外国人観光客受入環境整備 264千円 市観光施設10ヶ所への音声翻訳機の設置 宮沢賢治関係施設（記念館、童話村、イーハトーブ館）、高村光太郎記念館、博物館、新渡戸記念館、総合文化財センター、南部杜氏伝承館、萬鉄五郎記念美術館、鉛温泉スキー場			